

救 急



高規格救急自動車と全国消防イメージキャラクター「消太」

事業概要

令和 7 年中における救急活動出動件数は 49,897 件、搬送人員は 45,202 人であり、前年と比較して出動件数は 586 件、搬送人員は 419 人それぞれ増加しました。

これは、1 日平均約 137 件、約 11 分に 1 件の割合で救急車が出動し、管内住民の約 19 人に 1 人が救急車によって搬送されたことになります。

救急活動における高度な救急処置を安定的に提供するため、救急救命士の養成を強力に推進するとともに、処置範囲の拡大に伴う資格取得の支援及び定期的な再教育を実施し、救急業務の更なる高度化を図っています。

また、住民への応急手当の普及啓発として、自動体外式除細動器（AED）の取扱いを含む応急手当講習会を継続的に開催しています。特に、学校教育における救命講習の普及を目的として、平成 28 年 9 月から教育委員会と連携し、小学 5 年生及び中学 2 年生を対象とした講習会を定期実施しています。

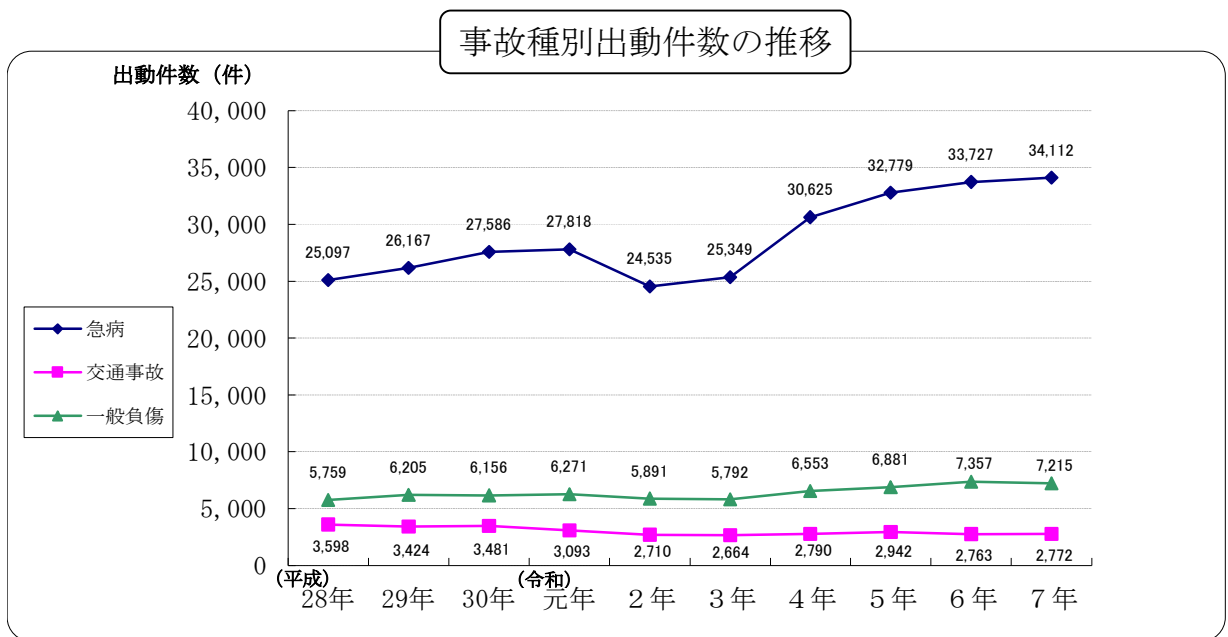
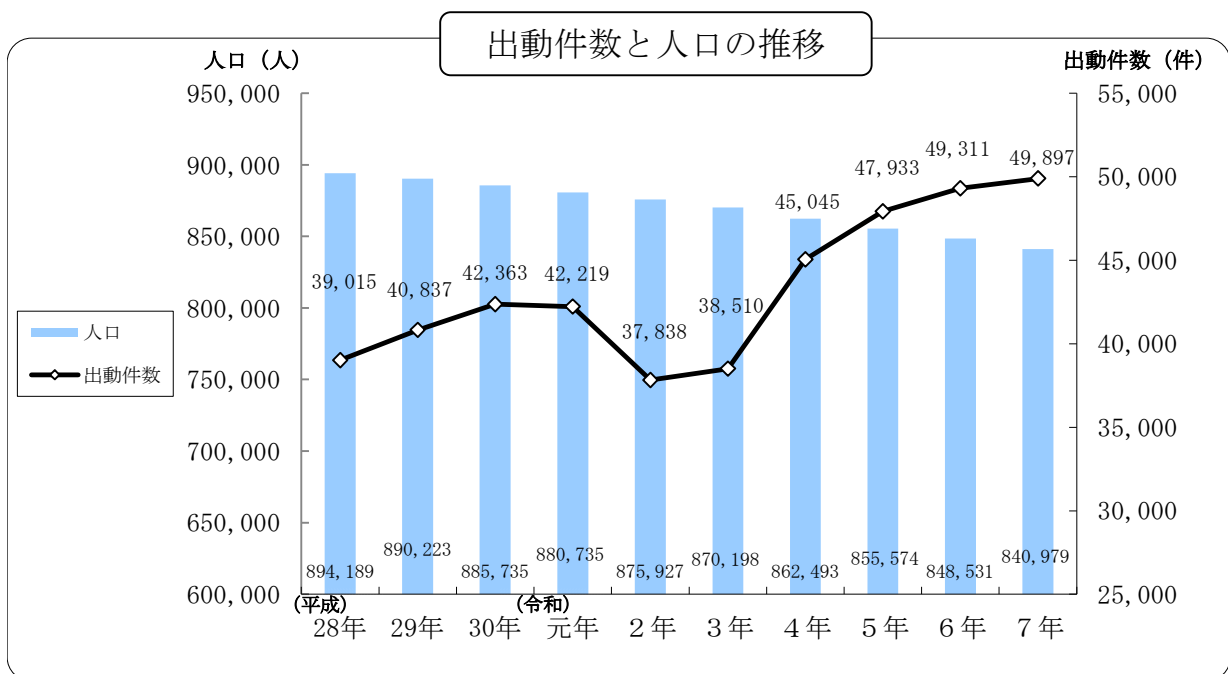
民間による患者等搬送体制の確保に向けては、平成 21 年 4 月に「静岡市消防局患者等搬送事業に対する指導及び認定に関する規程」を策定し、適切に指導及び認定業務を行っており、令和 8 年 4 月 1 日現在における認定事業者数は 9 事業所となっています。

救急出動件数と人口の推移（10年間）

	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
人口	894,189	890,223	885,735	880,735	875,927	870,198	862,493	855,574	848,531	840,979
出動件数	39,015	40,837	42,363	42,219	37,838	38,510	45,045	47,933	49,311	49,897
急病	25,097	26,167	27,586	27,818	24,535	25,349	30,625	32,779	33,727	34,112
交通事故	3,598	3,424	3,481	3,093	2,710	2,664	2,790	2,942	2,763	2,772
一般負傷	5,759	6,205	6,156	6,271	5,891	5,792	6,553	6,881	7,357	7,215
その他	4,561	5,041	5,140	5,037	4,702	4,705	5,077	5,331	5,464	5,798

※人口は各年4月1日現在（静岡県住民基本台帳から）

※静岡市、島田市、牧之原市、吉田町及び川根本町の人口及び出動件数を合算している。



事故種別出動件数及び搬送人員（全体）

令和 7 年中の救急出動件数は49,897件であり、前年に比して586件（1.19%）増加しています。

事故種別ごとの内訳では、「急病」が34,112件（構成比68.36%）と最も多く、次いで「一般負傷」が7,215件（同14.46%）、「交通事故」が2,772件（同5.56%）の順となっています。また、搬送人員は45,202人であり、前年に比して419人（0.94%）増加しました。

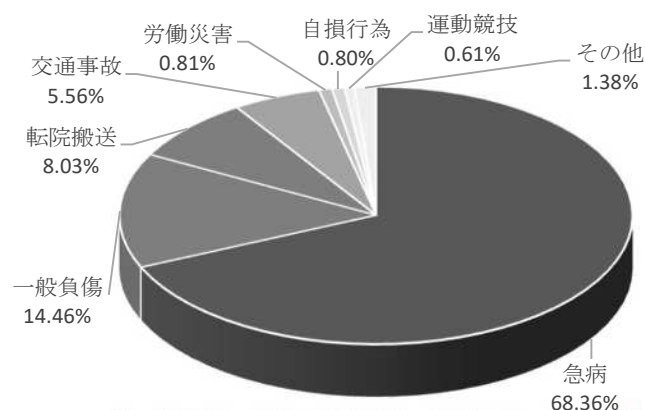
事故種別		令和 6 年中		令和 7 年中		対前年比	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数 増減数	搬送人員 増減数
火 災		56	20	53	25	- 3	+ 5
自然災害		12	1	21	20	+ 9	+ 19
水難事故		30	7	14	6	- 16	- 1
交通事故		2,763	2,480	2,772	2,478	+ 9	- 2
労働災害		320	303	406	396	+ 86	+ 93
運動競技		308	303	302	300	- 6	- 3
一般負傷		7,357	6,879	7,215	6,702	- 142	- 177
加 害		101	74	77	69	- 24	- 5
自損行為		382	294	397	284	+ 15	- 10
急 病		33,727	30,592	34,112	30,948	+ 385	+ 356
転院搬送		3,828	3,806	4,006	3,967	+ 178	+ 161
そ の 他	医師搬送	7	0	12	0	+ 5	± 0
	資器材等 搬送	1	0	1	0	± 0	± 0
	その他	419	24	509	7	+ 90	- 17
合 計		49,311	44,783	49,897	45,202	+ 586	+ 419

※ 出動件数とは、救急隊が救護の目的で出動した件数

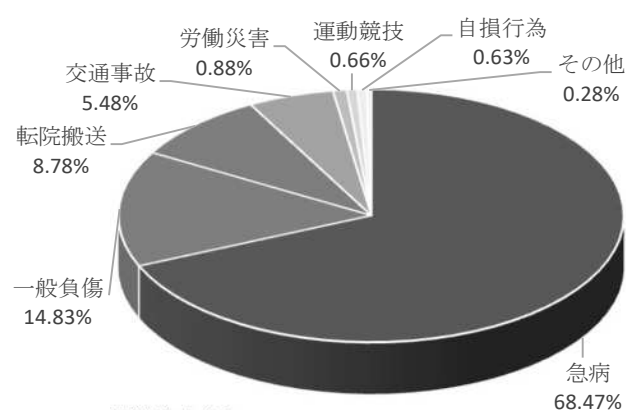
※ 搬送人員とは、救急隊が傷病者を医療機関等へ搬送した人員

※ 構成比は、小数点以下第 3 位を四捨五入している。

令和 7 年中 出動件数割合



令和 7 年中 搬送人員割合



※ その他に火災・自然災害・水難事故・加害・医師搬送・資器材等搬送を含む

事故種別出動件数及び搬送人員（市町別）

（令和 7 年 1 月 1 日～令和 7 年12月31日）

事故種別 市町別		火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	その他			合 計
													医 師 搬 送	資 器 材 等 搬 送	そ の 他	
静岡市	出動 件数	40	2	10	2, 240	313	256	5, 986	65	340	28, 648	3, 317	12	0	435	41, 664
	搬送 人員	(17)	(0)	(5)	(1, 982)	(305)	(254)	(5, 534)	(57)	(246)	(25, 903)	(3, 286)	(0)	(0)	(5)	(37, 594)
	対前 年比	-4	-7	-6	-11	+65	-9	-88	-24	+23	+236	+139	+7	±0	+97	+418
	搬送 人員	(-1)	(-1)	(+3)	(-40)	(+70)	(-7)	(-118)	(-8)	(-1)	(+248)	(+129)	(±0)	(±0)	(-15)	(+259)
島田市	出動 件数	3	0	0	248	39	28	693	9	32	3, 119	358	0	0	41	4, 570
	搬送 人員	(3)	(0)	(0)	(230)	(38)	(28)	(663)	(9)	(20)	(2, 888)	(354)	(0)	(0)	(2)	(4, 235)
	対前 年比	-1	-2	-3	+1	+4	+2	-63	+6	-7	+41	+43	±0	±0	-1	+20
	搬送 人員	(+1)	(±0)	(±0)	(+4)	(+5)	(+4)	(-67)	(+7)	(-10)	(+6)	(+40)	(±0)	(±0)	(-1)	(-11)
牧之原市	出動 件数	3	11	2	118	26	12	292	1	15	1, 283	275	0	1	15	2, 054
	搬送 人員	(2)	(13)	(1)	(114)	(27)	(12)	(277)	(1)	(12)	(1, 194)	(272)	(0)	(0)	(0)	(1, 925)
	対前 年比	+1	+11	-4	-5	+8	+2	-4	-2	±0	+34	+5	±0	+1	-3	+44
	搬送 人員	(+2)	(+13)	(-2)	(+5)	(+10)	(+1)	(-3)	(-1)	(±0)	(+49)	(+3)	(±0)	(±0)	(-1)	(+76)
吉田町	出動 件数	2	8	1	91	23	4	184	2	9	808	26	0	0	13	1, 171
	搬送 人員	(0)	(7)	(0)	(80)	(23)	(4)	(177)	(2)	(5)	(744)	(26)	(0)	(0)	(0)	(1, 068)
	対前 年比	+1	+8	-1	+23	+8	±0	+21	-4	+3	+56	-5	±0	±0	-1	+109
	搬送 人員	(±0)	(+7)	(±0)	(+20)	(+8)	(+0)	(+23)	(-3)	(+2)	(+49)	(-6)	(±0)	(±0)	(±0)	(+100)
川根本町	出動 件数	2	0	1	23	5	2	58	0	1	236	30	0	0	4	362
	搬送 人員	(1)	(0)	(0)	(23)	(3)	(2)	(49)	(0)	(1)	(205)	(29)	(0)	(0)	(0)	(313)
	対前 年比	±0	-1	-1	-1	+1	-1	-8	±0	-4	+13	-4	-1	-1	-1	-9
	搬送 人員	(+1)	(±0)	(-2)	(+2)	(±0)	(-1)	(-13)	(±0)	(-1)	(+2)	(-5)	(±0)	(±0)	(±0)	(-17)
行政管轄外	出動 件数	3	0	0	52	0	0	2	0	0	18	0	0	0	1	76
	搬送 人員	(2)	(0)	(0)	(49)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(14)	(0)	(0)	(0)	(0)	(67)
	対前 年比	±0	±0	-1	+2	±0	±0	±0	±0	±0	+5	±0	-1	±0	-1	+4
	搬送 人員	(+2)	(±0)	(±0)	(+7)	(+0)	(±0)	(+1)	(±0)	(±0)	(+2)	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(+12)

※ 出動件数とは、救急隊が救護の目的で出動した件数
※ 搬送人員とは、救急隊が傷病者を医療機関等へ搬送した人員
※ 行政管轄外とは、3市2町以外に出動した事案

事故種別・年齢区分別・傷病程度別 搬送人員

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

年齢区分	傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
新生児	死亡													
	重症										3	1		4
	中等症										13	2	1	16
	軽症							1			6			7
	その他													
	計							1			22	3	1	27
乳幼児	死亡										1			1
	重症							1			2	1		4
	中等症				2			23			270	42		337
	軽症				35			231			874	3		1,143
	その他													
	計				37			255			1,147	46		1,485
少年	死亡									1				1
	重症				5		1	1			5	2		14
	中等症		1		34		36	26	1	10	136	47		291
	軽症				162	2	130	128	1	13	522	2		960
	その他													
	計		1		201	2	167	155	2	24	663	51		1,266
成人	死亡							1		6	12		1	20
	重症	3	2	1	31	14		22		21	278	56		428
	中等症	2	3	2	321	111	38	277	11	108	2,621	872	3	4,369
	軽症	7	7		1,044	160	80	720	39	83	5,232	28		7,400
	その他													
	計	12	12	3	1,396	285	118	1,020	50	218	8,143	956	4	12,217
高齢者	死亡			2	4			11		4	188	3		212
	重症	3		1	24	3		113	2	9	1,275	165		1,595
	中等症	8	4		258	51	4	2,353	5	18	11,715	2,697	1	17,114
	軽症	2	3		558	55	11	2,794	10	11	7,795	46	1	11,286
	その他													
	計	13	7	3	844	109	15	5,271	17	42	20,973	2,911	2	30,207
合計	死亡			2	4			12		11	201	3	1	234
	重症	6	2	2	60	17	1	137	2	30	1,563	225		2,045
	中等症	10	8	2	615	162	78	2,679	17	136	14,755	3,660	5	22,127
	軽症	9	10		1,799	217	221	3,874	50	107	14,429	79	1	20,796
	その他													
	計	25	20	6	2,478	396	300	6,702	69	284	30,948	3,967	7	45,202

※ 年齢区分は次により分類する

新生児…生後28日未満の者

乳幼児…生後28日以上、満7歳未満の者

少年…満7歳以上、満18歳未満の者

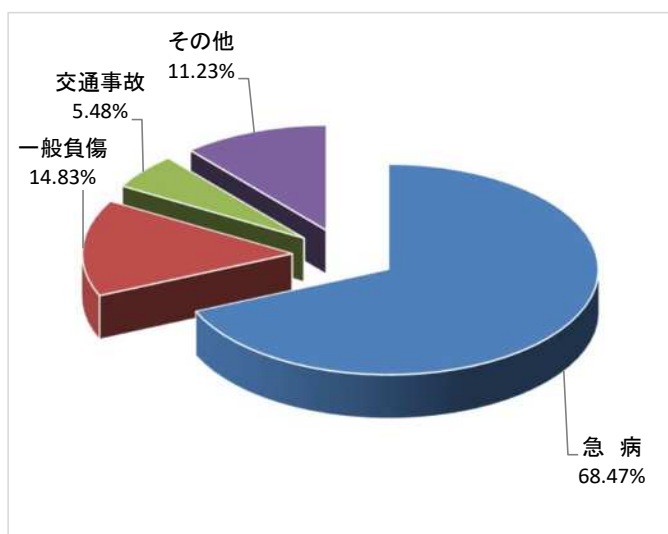
成人…満18歳以上、満65歳未満の者

高齢者…満65歳以上の者

事故種別搬送人員

急 病	30,948 人	(68.47%)
一般負傷	6,702 人	(14.83%)
交通事故	2,478 人	(5.48%)
その他	5,074 人	(11.23%)
合 計	45,202 人	

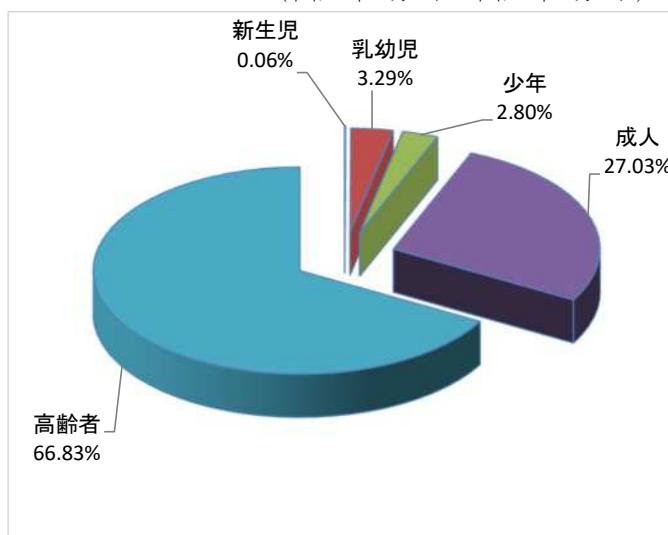
(令和7年1月1日～令和7年12月31日)



年齢区分別搬送人員

新生児	27 人	(0.06%)
乳幼児	1,485 人	(3.29%)
少 年	1,266 人	(2.80%)
成 人	12,217 人	(27.03%)
高齢者	30,207 人	(66.83%)
合 計	45,202 人	

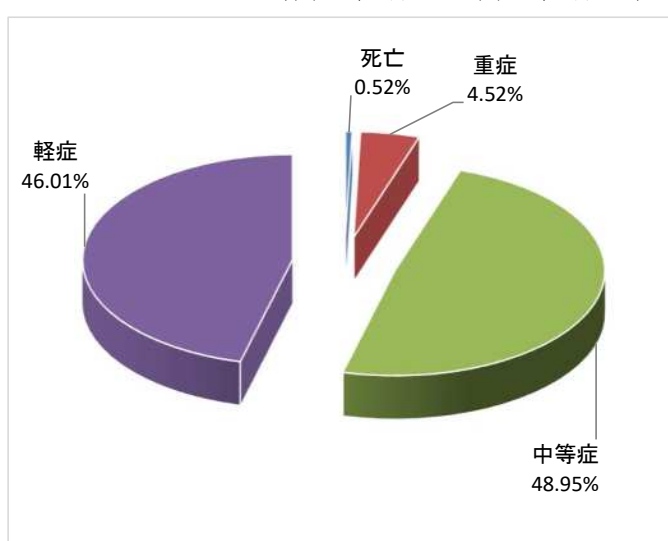
(令和7年1月1日～令和7年12月31日)



傷病程度別搬送人員

死 亡	234 人	(0.52%)
重 症	2,045 人	(4.52%)
中等症	22,127 人	(48.95%)
軽 症	20,796 人	(46.01%)
その他	0 人	(0.00%)
合 計	45,202 人	

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)



※その他：医師の診断がないもの等

曜日別・月別救急出動件数

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

区分		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他			計
													医師搬送	資機材等搬送	その他	
曜日	月	9	1	2	376	67	13	1,057	10	60	5,187	705	3		67	7,557
	火	3	1	3	443	66	16	1,021	6	58	4,747	645			60	7,069
	水	7		1	400	77	35	1,005	10	56	4,926	619	1		86	7,223
	木	9		2	387	66	25	970	10	46	4,655	545	2	1	57	6,775
	金	7	19	1	439	74	29	1,009	5	57	4,846	794	2		80	7,362
	土	7		4	392	33	83	1,090	20	58	4,620	440	4		73	6,824
	日	11		1	335	23	101	1,063	16	62	5,131	258			86	7,087
計		53	21	14	2,772	406	302	7,215	77	397	34,112	4,006	12	1	509	49,897
月	1月	5		1	253	19	13	767	5	35	3,813	449		1	45	5,406
	2月	7			189	30	23	593	6	23	2,841	335	1		26	4,074
	3月	7		2	208	29	25	574	10	26	2,944	372	1		34	4,232
	4月	5			216	35	36	541	5	30	2,449	335	1		44	3,697
	5月	2		4	229	26	26	550	5	40	2,386	292			45	3,605
	6月	3	1	3	234	42	28	526	5	42	2,660	321	1		39	3,905
	7月	1			252	45	21	532	4	35	2,878	304			57	4,129
	8月	7	1		199	31	30	576	10	29	3,169	276	2		39	4,369
	9月	2	19		221	40	29	551	7	33	2,721	297	1		58	3,979
	10月	2		1	250	32	33	625	3	30	2,557	333	3		43	3,912
	11月	5		1	246	36	20	650	11	39	2,708	307			41	4,064
	12月	7		2	275	41	18	730	6	35	2,986	385	2		38	4,525

時間帯別救急出動件数

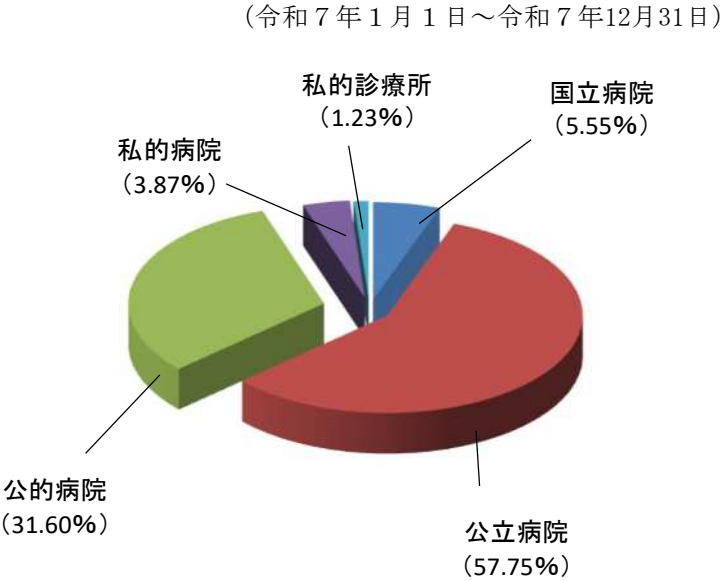
(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

時間 事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他			計
												医師搬送	資機材等搬送	その他	
0時～2時	5			54	5		203	6	21	1,638	70			31	2,033
2時～4時	1			35	7		198	16	11	1,422	39			22	1,751
4時～6時	2			65	3		231	2	20	1,572	41			20	1,956
6時～8時	5		1	267	11	1	540	1	27	2,657	41	2		24	3,577
8時～10時	5		2	404	83	30	991	7	40	4,162	421			48	6,193
10時～12時	8		3	357	97	72	950	5	40	4,077	1,027	3	1	63	6,703
12時～14時	7	15	3	325	66	54	806	10	37	3,765	766			73	5,927
14時～16時	2	6	3	369	70	48	836	4	30	3,285	545			78	5,276
16時～18時	3			413	39	35	826	4	47	3,289	553	2		66	5,277
18時～20時	2			278	10	27	681	5	45	3,269	240	2		31	4,590
20時～22時	9		2	140	9	30	556	7	32	2,816	166	2		27	3,796
22時～24時	4			65	6	5	397	10	47	2,160	97	1		26	2,818
計	53	21	14	2,772	406	302	7,215	77	397	34,112	4,006	12	1	509	49,897

病院別搬送人員

国立病院	2,508 人 (7)	(5.55%)
公立病院	26,102 人 (1,290)	(57.75%)
公的病院	14,285 人 (4)	(31.60%)
私的病院	1,751 人 (119)	(3.87%)
私的診療所	556 人 (25)	(1.23%)
その他の場所	0 人 (0)	(0.00%)
合 計	45,202 人 (1,445)	

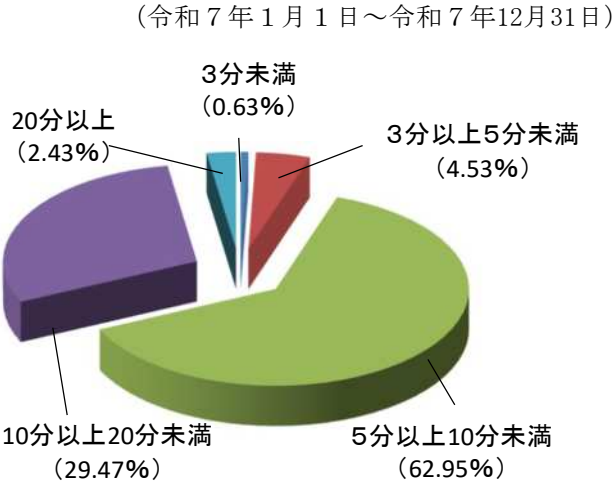
※上記の（ ）については、管外搬送人員です。
管内には、29病院と694診療所があります。
※公的病院：都道府県、市町村及びその他厚生労働大臣の定める者が開設する病院又は診療所。
※公立病院：地方公共団体が運営している医療機関。
※その他の場所：治療院、鍼灸院、マッサージ院、整骨院及び接骨院。
※構成比については、小数点以下第3位以下を四捨五入しています。



現場到着までの所要時間

3分未満	313 件	(0.63%)
3分以上5分未満	2,259 件	(4.53%)
5分以上10分未満	31,411 件	(62.95%)
10分以上20分未満	14,703 件	(29.47%)
20分以上	1,211 件	(2.43%)
合 計	49,897 件	

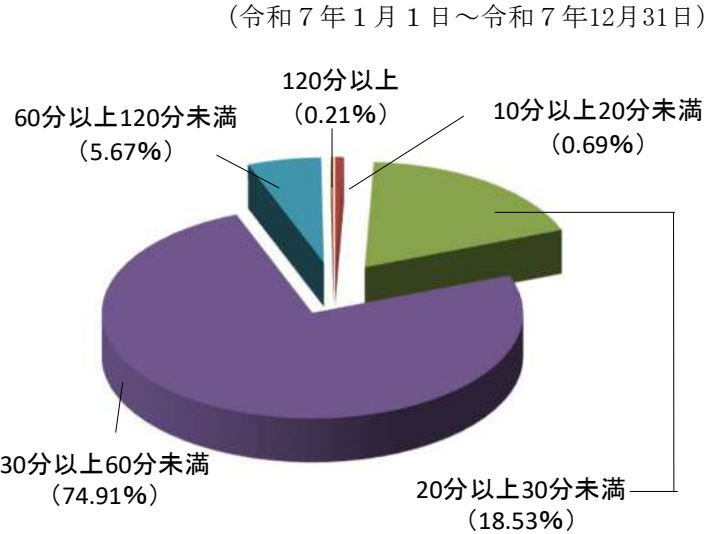
※覚知から現場到着までの平均所要時間は、9分24秒です。
※構成比については、小数点以下第3位以下を四捨五入しています。



医療機関収容までの所要時間

10分未満	0 人	(0.00%)
10分以上20分未満	310 人	(0.69%)
20分以上30分未満	8,375 人	(18.53%)
30分以上60分未満	33,862 人	(74.91%)
60分以上120分未満	2,562 人	(5.67%)
120分以上	93 人	(0.21%)
合 計	45,202 人	

※覚知から医療機関収容までの平均所要時間は、39分09秒です。
※構成比については、小数点以下第3位以下を四捨五入しています。



隊別活動状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

		出動件数	取扱件数	搬送人員
隊別活動状況	葵救急隊	4,174 (+ 64)	3,576 (- 19)	3,593 (- 5)
	山崎救急隊	2,604 (- 29)	2,401 (- 54)	2,414 (- 47)
	駿河救急隊	3,198 (+ 116)	2,826 (+ 106)	2,831 (+ 101)
	稲川救急隊	3,233 (+ 2)	2,895 (+ 33)	2,905 (+ 32)
	東豊田救急隊	3,248 (+ 114)	2,994 (+ 117)	3,003 (+ 110)
	鎌田救急隊	2,266 (- 80)	2,073 (- 44)	2,084 (- 45)
	用宗救急隊	1,564 (- 49)	1,449 (- 38)	1,458 (- 36)
	千代田救急隊	3,332 (+ 228)	3,063 (+ 188)	3,070 (+ 188)
	城東救急隊	2,954 (- 23)	2,650 (- 29)	2,655 (- 32)
	しずはた救急隊	1,864 (- 22)	1,680 (- 66)	1,685 (- 67)
	井川救急隊	50 (- 6)	1 (- 2)	1 (- 2)
	清水第1救急隊	3,288 (+ 150)	2,856 (+ 97)	2,864 (+ 99)
	清水第2救急隊	939 (- 84)	840 (- 82)	841 (- 82)
	高部救急隊	2,335 (± 0)	2,070 (- 71)	2,079 (- 69)
	港北救急隊	2,103 (- 56)	1,956 (- 21)	1,969 (- 34)
	小島救急隊	886 (+ 11)	827 (+ 75)	830 (+ 76)
	庵原救急隊	992 (+ 84)	899 (+ 71)	903 (+ 74)
	日本平救急隊	2,678 (+ 14)	2,440 (+ 18)	2,446 (+ 15)
	島田救急隊	1,673 (- 28)	1,578 (- 37)	1,583 (- 40)
	金谷救急隊	1,029 (+ 76)	951 (+ 74)	957 (+ 77)
	六合救急隊	1,073 (- 10)	981 (- 15)	986 (- 11)
	初倉救急隊	728 (+ 2)	635 (- 12)	638 (- 11)
	川根南救急隊	340 (+ 23)	317 (+ 28)	317 (+ 26)
	川根北救急隊	296 (+ 1)	252 (- 12)	252 (- 12)
	吉田救急隊	1,630 (+ 63)	1,493 (+ 57)	1,503 (+ 62)
	吉田第2救急隊	409 (+ 3)	380 (+ 9)	382 (+ 8)
	牧之原救急隊	744 (+ 7)	698 (+ 27)	706 (+ 33)
	地頭方救急隊	252 (+ 26)	233 (+ 19)	235 (+ 21)
	航空隊	15 (- 11)	12 (- 10)	12 (- 10)
合 計		49,897 件 (+ 586)	45,026 件 (+ 407)	45,202 人 (+ 419)

※ () は前年比

応急手当普及啓発活動の実施状況

(各年1月1日～12月31日)

年別			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
講習別							
講習別受講回数・受講人員	講習Ⅰ 普通救命	回数	203	226	336	348	333
		人員	2,522	2,893	4,821	5,128	4,813
	講習Ⅱ 普通救命	回数	4	12	13	15	7
		人員	21	93	101	170	62
	講習Ⅲ 普通救命	回数	46	65	74	78	66
		人員	500	717	827	877	656
	講習 上級救命	回数	8	13	20	21	20
		人員	92	162	259	273	268
	コース 救命体験	回数	130	161	210	222	255
		人員	7,145	8,877	10,482	9,871	11,960
	コース 救命入門	回数	94	122	183	218	222
		人員	3,729	4,970	6,848	7,195	7,203
	養成講習 指導員	回数	1		1	1	1
		人員	23		27	18	35
	養成講習 普及員	回数	1	1	5	6	6
		人員	7	10	37	58	60
	再講習 指導員・普及員	回数	8	6	16	14	16
		人員	118	106	50	116	137

- 普通救命講習Ⅰ（3時間） 心肺蘇生法（含 AEDの使用方法）、観察要領、止血法について、実習を主体とした講習
- 普通救命講習Ⅱ（4時間） 業務の内容により一定の頻度でAEDの使用が想定される事業等を対象とし、心肺蘇生法（含 AEDの使用方法）、観察要領、止血法について、実習を主体に行い、更に筆記及び実技試験を行う講習
- 普通救命講習Ⅲ（3時間） 新生児・乳児・小児に対する心肺蘇生法（含 AEDの使用方法）、観察要領、止血法について実習を主体とした講習
- 上級救命講習（8時間） 普通救命講習Ⅰ及びⅢの内容に加え、傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当て及び搬送法について、実習を主体とした講習
- 救命体験コース（45分） 胸骨圧迫の必要性やAEDの使用方法について、座学を主体とした講習
- 救命入門コース（90分） 応急手当の目的・必要性や心肺蘇生法（含 AEDの使用方法）について、実習を主体とした講習 ※体験コース（45分）及び入門コース（90分）については学校教育における講習を含む
- 指導員養成講習（24時間） 各救命講習の指導者を養成する講習
- 普及員養成講習（24時間） 事業所又は防災組織等における救命講習の指導者を養成する講習

救急救命士の概要

平成3年8月の救急救命士法施行に伴い、毎年、救急救命士養成所へ職員を派遣し、救急救命士の養成を継続して行っています。また、平成26年度からは、指導的立場となる救急救命士の資格取得を目的とした「指導救命士養成研修」へ毎年職員を派遣しており、救急救命士の育成及び教育体制の強化を推進することで、救命効果のさらなる向上を図っています。

(1) 配置状況

(令和8年4月1日現在)

救急救命士総数	専任救急隊 配置救命士数	兼任救急隊 配置救命士数	消防隊等 配置救命士数	消防本部等 配置救命士数
222(18)	139(9)	16(1)	38(3)	29(5)

注・()内は指導救命士数

(2) 養成研修・病院実習の実施人数

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

救急救命士 養成研修	指導救命士 養成研修	病院実習			
		就業前 病院実習	再教育 病院実習	気管挿管 病院実習	ビデオ喉頭鏡 病院実習
5	2	7	84	9	12

注・救急救命士養成研修とは、救急救命士の資格を取得するための研修

- ・指導救命士養成研修とは、指導的立場となる救急救命士の資格を取得するための研修
- ・就業前病院実習とは、救急救命士として従事する前に実施する研修
- ・再教育病院実習とは、救急救命士として従事する者を対象に実施する研修
- ・気管挿管病院実習とは、気管内チューブによる気道確保を行うための研修
- ・ビデオ喉頭鏡病院実習とは、ビデオ硬性喉頭鏡を用いて気管内チューブによる気道確保を行うための研修

(3) 救急救命士（救急隊員含む）の研修実施状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	救急隊員研修実施状況					
研修名称	救急活動中の 事故防止対策	周産期研修	意識障害傷病者 に対する救急活動について	外傷傷病者 に対する救急活動について	小児傷病者 に対する救急活動について	研究発表及び 救急活動記録について
実施回数	2	2	2	4	2	2
受講者数	190	202	129	239	136	123

(4) 特定行為等実施状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

除細動	器具による気道確保			心肺停止前		心肺停止後	
	気管挿管	ビデオ 挿管	食道閉鎖式 エアウェイ	静脈路確保	ブドウ糖溶液 投与	静脈路確保	アドレナリン 投与
92	34	15	472	344	64	467	440

患者等搬送事業者の認定

車椅子又はストレッチャー等を備えた専用の車両を用いて、歩行困難者や在宅ケア患者等の送迎を行う民間の一般乗用旅客自動車運送事業者等のうち、一定の認定基準を満たす者を「患者等搬送事業者」として認定し、もって搬送安全の確保及び市民利用の利便の増進を図っています。

静岡市消防局管内の認定患者等搬送事業者

(令和8年4月1日現在)

認定患者等搬送事業者数	患者等搬送車両認定台数		乗務員適任証保有者数	車椅子専用
	車椅子専用	ストレッチャー及び車椅子兼用		
9	11	6	32	9

認定の要件

乗務体制	車両・装備	乗務員資格 (各適任証の有効期間：2年間)
車両1台 + 乗務員2人以上 (車椅子専用車は1人以上)	- ストレッチャー、車椅子を固定する設備 - 携帯可能な通信機器 - 救急車と紛らわしい外観でない - 応急手当に必要な資器材を積載 - など	1. 患者等搬送乗務員適任証 (1) 患者等搬送乗務員講習24時間講習修了者 (2) 補充講習6時間講習修了者※1 2. 患者等搬送乗務員適任証(車椅子専用) (1) 患者等搬送乗務員(車椅子専用)講習16時間講習修了者

※1 補充講習は日本赤十字社の行う救急員養成講習又は消防機関の行う応急手当指導員養成講習若しくは応急手当普及員講習を修了した者に対して行う講習。